

軽井沢町自然保護審議会は8月18日、町長の諮問を受け、2021年度の施行を目指す町環境基本条例について協議した。町が示した条例案をもとに、委員が意見を述べた。同条例は、豊かな自然環境の保全・創造に関する、町の基本的な考えや方向を定め、住民や事業者、町の責務を示したもので、環境行政の上位条例にあたる。同条例をもとに、施策を計画的に進めるための町環境基本計画（仮称）を2年ほどかけて策定する考えだ。

委員からは、年間800万人余が来訪する軽井沢は、観光客も環境に与える影響は大きいとし「来訪者の責務も加えられないか」。30年後の「CO2排出実質ゼロ」を宣言している町として、「町の姿勢を

軽井沢町環境基本条例、自然保護審議会が協議

より強く打ち出した表現をしてもいいのでは」などの意見があった。

また、町長への答申前に、条例案を公開しパブリックコメント（意見公募）を求め、委員の総意として確認した。



解体で明らかになった事実も 修繕中の旧三笠ホテル公開

軽井沢町教育委員会は8月29日、保存に向け修繕工事中の重要文化財・旧三笠ホテルを町民対象に特別公開した。新型コロナウイルス感染防止のため、10人ずつ3回にわけて実



修繕工事が進む旧三笠ホテル入口で、専門家の説明を受ける参加者。

施。参加者は、文化財建造物保存技術協会の担当者の案内で、建物を囲んだ足場を上り屋根部分を見学。カーペットなどが剥がされた客室部屋も見て回った。

担当者は、屋根面に残る釘の痕跡から過去に2度の葺き替えを行っていたと説明。スレートと呼ばれる薄い板状の屋根材も、時代ごとに形や素材が異なっていたことも判明した。

2階客室にはリノリウムと呼ばれる床材が3重に敷かれていて、最下層には1938年頃から製造が始まったものが使われていたこともわかった。「床材が汚れたり傷がついたりすると、上に張り重ねる形で使用していたのでは」と担当者。

家族3人で参加した追分の伊藤由季子さんは「屋根の上など見えない所も手が込んでいて、作り手の努力が垣間見えた。当時の建築技術の高さに改めて驚かされました」と満足した様子だった。町教委は、工事期間中に今後も特別公開の機会を設ける予定だ。

大坂屋家具店は9月7日から、旧軽井沢銀座で買える商品をひとまとめにした「おうちで軽井沢朝食セット」の販売・発送を始めた。「新型コロナの影響で、こじしは軽井沢に行けない」という声をよく耳にした同店の土屋恵美さん、由美さん姉妹が「離れた場所でも軽井沢を身近に感じてもらう」と企画した。旧軽井沢周辺を散歩しながら食べ物を買集め、家での食事を楽しむ人が多いことから、朝食をテーマにしたセットを思い立った。

セット内容は、軽井沢コーヒーカンパニーのドリップバッグ（5袋）、デリカテッセンのバラエティーセット、フランスベーカリーの角食パンとパンロール、ハニープラントの生はちみつ2種、大坂屋家具店のジャム2種（ブルーベ

「遠方でも軽井沢を身近に」 旧軽の朝食セット販売

リーと杏）。販売価格は4520円で、送料（冷蔵）はプラス1430円。「ご高齢になって軽井沢から遠ざかっている人もいる。そういう方々にも懐かしんでいただけたらと思う」と恵美さん。注文は大坂屋家具店のネットショップ、または電話、ファクス、メールから。



TEL0267-42-2550 FAX0267-42-2249
メール karuizawa@osakaya-f.co.jp

NEWS DIGEST

■ ビニールエプロン 6000 枚など、町に寄贈

独自のサービス券を発行する26の加盟店からなる「軽井沢サービス連盟会」は8月7日、新型コロナウイルス感染予防のため、ビニールエプロン6000枚とビニール手袋1500枚を町に寄贈した。本島光彦会長は「少しでも役に立てることはないか、会員全員で考えた」と、寄贈に至った経緯を説明。町長は「町の皆さんの安全、安心に繋がる」と感謝を述べた。エプロン、手袋は町内の医療機関、福祉事業所、計42施設に提供する。



■ 軽井沢町役場に爆破予告も、不審物はなし

8月29日、軽井沢町役場に「9月2日10時半に庁舎を爆破する」などとしたメールが届いた。町はホームページやSNSで、2日午前中の来庁を控えるよう呼びかけ、当日は庁舎入口に貼り紙をして立ち入りを規制。警察が不審物がないか見回したが、爆発物などは見つからなかった。同様のメールは小諸市、富士見町にも届き、警察は威力業務妨害の疑いで捜査している。2日10時から予定していた議会9月会議は1時間遅らせてスタートした。

■ 町商工会青年部、アルコール噴霧器 24 台寄贈

軽井沢町商工会青年部（部員28人）は9月3日、町内小中学校の新型コロナウイルス感染症対策に役立ててもらおうと、アルコール消毒液の自動噴霧器24台を町に寄贈した。毎年実施している講習会が中止になるなど、青年部としての活動ができない中、部内で相談し年会費を町のために使うことに決めた。高橋檀部長



は「部員には子育て世代が多い。学校に無くて困っているものを贈る方向で意見がまとまった」と話した。

■ 新軽地区、寄贈された消防機器を区民に配布

新軽井沢区は、消防機器の製造などを行う業者でつくる、全国消防機器協会から、住宅用火災警報器100個、住宅用消火器25本、防災エプロン・防災アームカバー25セットを寄贈された。同区の高齢者世帯を中心に、事前に回覧板で応募があった家に配布する。新軽井沢区が同協会の住警器等配布モデル事業に応募。昭和45年の軽井沢駅前大火以降、防災活動に尽力していることが認められ、寄贈されることになった。



MORIASOBI

「MORIASOBI」は
テラスの修理・増築
家具コーディネート専門店です。

〒389-0111 軽井沢町長倉2145-5 ハルニレテラス
TEL:0267-31-6998 Email:info@moriasobi.com

http://moriasobi.com/

スタッフ
募集中!!
まずはお気軽に
☎ください

VISION STATION
by komiyama

はめしゅうさいせきそうち
最新の波面収差解析装置を導入

白内障やレーシック等の高度な医療に利用される波面収差解析は波のように光の輪を目に送り、角膜と水晶体の度数を0.01D(ディオプリー)単位で解析します。また店長は米のオプトメリー(検眼学)を学び、ドイツのZEISS(カールツァイス)レンズを中心に眼の度数や使用目的に最適なメガネをご提案します。

皆様の毎日が楽しく、健やかになるよう知識と技術、最新設備を備えお待ちしております。

Facebook Vision Station 軽井沢 Instagram vision station karuizawa

【JOA公認SS級認定眼鏡士】【認定補聴器専門店】
営/10~19時(受付18時迄) 火曜定休
完全予約制 http://www.eyeloveyou.jp
TEL 0267-41-6373